

調査計画

1 調査の名称（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

受療行動調査

2 調査の目的

全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を患者から調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲（☒全国 ☐その他）

(2) 属性的範囲（☒個人 ☐世帯 ☐事業所 ☐企業・法人・団体 ☐地方公共団体 ☐その他）

【外来患者票】 病院の外来を受診した患者

【入院患者票】 病院に入院中の患者

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

(1) 報告者数

【外来患者票】 約104,000人（母集団の大きさ1,052,000人）

【入院患者票】 約56,000人（母集団の大きさ874,000人）

(2) 報告者の選定方法（☐全数 ☒無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

医療施設基本ファイル^(注)に基づき、病院の中から500施設を層を設けて無作為抽出により選定し、厚生労働省が指定した1日に当該病院の外来を受診した患者及び当該病院に入院中の患者全員に報告を求める。なお、当該病院は令和5年に実施する患者調査（厚生労働省が実施する基幹統計調査）の報告者の一部（病院外来（奇数）票により報告を求める病院）に充てる。

標本設計の詳細については、別添1「令和5年受療行動調査の標本設計」を参照。

(注) 医療施設基本ファイルとは、医療施設調査（静態調査）の調査結果名簿を基に、同調査の動態調査により把握した医療施設の開設・廃止等の状況を反映させた医療施設に係る名簿である。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項（詳細は[外来患者票](#)及び[入院患者票](#)を参照）

【外来患者票】

性別、生年月日、診察等までの待ち時間、診察時間、来院の目的、医師から受けた説明の程度、生活

習慣上の助言や指導、病院を選んだ理由、入院の有無、外来の受診頻度 等

【入院患者票】

性別、生年月日、病院を選んだ理由、入院までの期間、医師から受けた説明の程度、生活習慣上の助言や指導、今後の治療・療養の希望 等

(本調査には、満足度など、意識等に関する事項も含まれる。詳細は調査票を参照)

[集計しない事項の有無] ☐無 ☒有

調査票の記入者は、審査で用いるものであり、集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

令和5年10月第3週の火曜日～木曜日の3日間のうち厚生労働省が病院ごとに指定した1日（患者調査と同日）

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

調査票の配布： 厚生労働省―都道府県―（保健所設置市・特別区）―保健所―調査員―報告者

調査票の回収： 報告者―（調査員）―厚生労働省

(2) 調査方法

☒郵送調査 ☐オンライン調査（☐政府統計共同利用システム ☐独自のシステム ☐電子メール）

☒調査員調査 ☐その他（ ）

[調査方法の概要]

【外来患者票】

調査員が報告者である外来患者に、病院で調査票を配布する。

報告者は、調査票に記入後、郵送で厚生労働省に提出する。ただし、報告者が郵送で提出することが困難な場合は、報告者から提出を受けた調査員が郵送で厚生労働省に提出することも可能とする。

【入院患者票】

調査員が報告者である入院患者に、病院で調査票を配布する。

報告者は、調査票に記入後、郵送で厚生労働省に提出する。ただし、報告者が郵送で提出することが困難な場合は、報告者が、病院に設置された回収箱に入れる方法で提出することも可能とする。この場合、回収箱の調査票は、調査員が郵送で厚生労働省に提出する。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐ 1回限り ☐ 毎月 ☐ 四半期 ☐ 1年 ☐ 2年 ☒ 3年 ☐ 5年 ☐ 不定期 ☐ その他 ()

(1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：令和2年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査の実施期間 令和5年10月第3週の火曜日～令和5年11月末日（末日が土日の場合は直前の平日）

8 集計事項

別添2「受療行動調査結果表一覧」のとおり

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表・非公表の別（☒全部公表 ☐一部非公表 ☐全部非公表）

(2) 公表の方法（☒e-Stat ☒インターネット（e-Stat以外） ☒印刷物 ☐閲覧）

概数は、厚生労働省ホームページへ掲載する。

確定数は、政府統計の総合窓口（e-Stat）に掲載するとともに、厚生労働省ホームページへ掲載し、受療行動調査結果表一覧に掲載する結果表から一部抜粋して報告書を刊行する。

(3) 公表の期日

概 数 令和6年10月頃

確定数 令和7年3月頃

10 使用する統計基準等

☒使用する→☐日本標準産業分類 ☐日本標準職業分類 ☒その他（疾病、傷害及び死因の統計分類）

☐使用しない

集計結果の傷病別の表示に「疾病、傷害及び死因の統計分類」を使用する。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 調査票情報の保存期間

・記入済み調査票： 政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）で取得した日の属する年度の翌年度の始期から1年

・調査票の内容を記録した電磁的記録媒体： 永年

(2) 保存責任者

- ・記入済み調査票：厚生労働省保健統計官
- ・調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：
厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）付参事官（企画調整担当）

令和 5 年受療行動調査の標本設計

本調査は、選定された病院の外来を受診した患者及び入院中の患者の全てを調査するものであり、必要な調査客体数(患者数)を得るために調査すべき標本施設の数、病院の種類ごと(層:特定機能病院、大病院等)に、調査項目(設問)における、ある選択肢の回答の構成割合が10%程度のもの(例:問1の選択肢1～5のうち3を回答した割合が10%程度)について、標準誤差率が5%以内となることを目標として算出している。

令和5年調査で必要な標本施設数は、令和2年調査の結果による標準誤差率を基に算出しており、本来必要となる標本施設数は884施設となっている。しかし、予算制約のある中で、病院の種類ごとに目標精度を達成することだけでなく、調査結果全体の質を確保することも重要であることから、全体の調査客体数(患者数)を確保するため、1施設当たりの患者数(回答数)が比較的少ない「小病院」(98人※)及び「療養病床を有する病院」(88人※)については標本施設数を減らして、それ以外の病院から1施設当たりの患者数(回答数)を多く確保できるように標本施設数を割り当てて500施設の範囲となるよう調整している。

※カッコ内の数値は、平成29年調査結果での1施設当たり回答数の実績を示した。(参考参照)

また、抽出対象医療施設、抽出及び層化基準の詳細については別紙を参照のこと。

○母施設数、標本施設数及び標準誤差率

病院の種類	令和2年(実績)			
	母施設数	標本施設数	回収施設数	結果精度 (標準誤差率)
特定機能病院	86	35	35	4.695
大病院	233	70	66	3.913
中病院	1,613	145	143	5.074
小病院	1,490	125	122	8.546
療養病床を有する病院	3,529	125	118	8.942
合 計	6,951	500	484	6.187

病院の種類	令和5年			令和5年(調整後)		
	母施設数	標本施設数	見込み精度 (標準誤差率)	母施設数	標本施設数	見込み精度 (標準誤差率)
特定機能病院	87	33	4.947	87	35	4.714
大病院	228	46	4.947	228	70	3.736
中病院	1,579	147	4.992	1,579	145	5.030
小病院	1,459	307	4.996	1,459	125	8.426
療養病床を有する病院	3,454	351	4.999	3,454	125	8.676
合 計	6,807	884	—	6,807	500	6.075

注:令和5年の母施設数の算出方法(ただし、特定機能病院は令和4年4月1日現在の承認施設数を用いる。)

- ①医療施設調査結果を用いて、平成29年から令和2年までの各年における全国の病院数の増減割合の平均を求めてこれを3倍し、令和2年の全国の病院数に乗じて令和5年の全国の見込み病院数を求める。
- ②令和2年の、医療施設調査結果での全国の病院数に占める受療行動調査での母施設数(合計)の割合を求め、①に乗じて令和5年の見込み母施設数(合計)を求める。
- ③令和2年の、受療行動調査での母施設数(総数)から特定機能病院を除いた数に占める病院の種類別母施設数の割合を、②で求めた令和5年の見込み母施設数(合計)から特定機能病院を除いた数に乗じて、令和5年の病院の種類別見込み母施設数を求める。

(参考：調査実施施設数、有効回答数及び1施設当たり回答数)

	平成26年			平成29年			令和2年		
	施設数(A)	有効回答数(B)	1施設当たり回答数(B/A)	施設数(A)	有効回答数(B)	1施設当たり回答数(B/A)	施設数(A)	有効回答数(B)	1施設当たり回答数(B/A)
特定機能病院	35	39,649	1,133	35	38,396	1,097	35	24,297	694
大病院	69	51,282	743	68	47,965	705	66	33,758	511
中病院	144	38,237	266	144	36,756	255	143	29,548	207
小病院	117	11,314	97	120	11,718	98	122	8,860	73
療養病床を有する病院	123	12,506	102	123	10,865	88	118	9,185	78
合 計	488	152,988		490	145,700		484	105,648	

○結果精度(標準誤差率)の推計方法について

各層ごとに、前回調査の回答の中から構成割合が10%程度(5%以上15%以下)の項目に対して、標準誤差率を被説明変数、構成割合を説明変数として回帰直線を求め、当該回帰直線上で構成割合10%における値を結果精度(標準誤差率)として採用した。

○精度設計について

標準誤差率は $\sqrt{\frac{N-n}{N \cdot n}} \times \frac{\sigma}{\mu}$ (N : 母施設数、 n : 標本施設数、 μ : 母平均、 σ : 母標準偏差) で算出。

$$\text{令和2年調査の標準誤差率} = \sqrt{\frac{N_{old}-n_{old}}{N_{old} \cdot n_{old}}} \times \frac{\sigma_{old}}{\mu_{old}}$$

$$\text{令和5年調査の標準誤差率} = \sqrt{\frac{N_{new}-n_{new}}{N_{new} \cdot n_{new}}} \times \frac{\sigma_{new}}{\mu_{new}}$$

○令和5年調査における、病院の種類別にみた必要標本施設数の求め方

- 標準誤差率 $\sqrt{\frac{N-n}{N \cdot n}} \times \frac{\sigma}{\mu}$ のうち、令和5年の変動係数 $\frac{\sigma_{new}}{\mu_{new}}$ は令和2年の値 $\frac{\sigma_{old}}{\mu_{old}}$ と変わらないものとする、令和2年調査と令和5年調査の標準誤差率の違いは $\sqrt{\frac{N-n}{N \cdot n}}$ によることとなる。

- このことから、令和2年調査の標準誤差率(実績)と令和5年調査の標準誤差率(目標5%以内)の比率は、 $\sqrt{\frac{N_{old}-n_{old}}{N_{old} \cdot n_{old}}}$ と $\sqrt{\frac{N_{new}-n_{new}}{N_{new} \cdot n_{new}}}$ の比率で算出できる。

令和2年調査の標準誤差率(実績) : 令和5年調査の標準誤差率(目標5%以内)

$$= \sqrt{\frac{N_{old}-n_{old}}{N_{old} \cdot n_{old}}} : \sqrt{\frac{N_{new}-n_{new}}{N_{new} \cdot n_{new}}} \dots (*)$$

- 令和2年調査の標準誤差率(実績)、令和5年調査の標準誤差率(目標5%以内)、 N_{old} 及び n_{old} (令和2年調査の母施設数及び標本施設数)、 N_{new} (令和5年調査の母施設数)を上記(*)の計算式に当てはめて、令和5年調査で必要な標本施設数 n_{new} を算出した。

(参考) 調査項目の回答の構成割合の推計方法

ある属性を持つ患者の比率の推計値 \hat{R}_g は、ある属性を持つ推計患者数 \hat{Z}_g^A と属性計の推計患者数 \hat{Z}_g^O の比で求める。

$$\hat{R}_g = \frac{\hat{Z}_g^A}{\hat{Z}_g^O} = \frac{\sum_k \sum_l \hat{Z}_{gkl}^A}{\sum_k \sum_l \hat{Z}_{gkl}^O}$$

\hat{Z}_{gkl}^A : 層 g 、性 k 、年齢階級 l のある属性を持つ推計患者数

\hat{Z}_{gkl}^O : 層 g 、性 k 、年齢階級 l の属性計の推計患者数

\hat{Z}_{gkl}^A 及び \hat{Z}_{gkl}^O は、入院・外来とも層別、性別及び年齢階級別に医療施設静態調査の層別患者数を補助変量とする比推定により求める。

詳細については、本調査HP (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/34-17c.pdf>) を参照。

1 抽出対象医療施設

医療施設基本ファイルに基づき、病院の中から層化無作為抽出する。なお、当該病院は同年に実施する患者調査の対象病院の一部とする。

ただし、次の病院は調査対象から除外する。

- ① 1 年未満休診、1 年以上休診、休止中の病院
- ② 精神病床のみの病院
- ③ 感染症病床のみの病院
- ④ 結核病床のみの病院
- ⑤ 療養病床及び一般病床のない病院
- ⑥ 児童福祉法に基づく福祉型障害児入所施設・医療型障害児入所施設
- ⑦ 医療刑務所
- ⑧ ハンセン病の病院
- ⑨ 老人性認知症疾患療養病棟を有する病院

2 抽出医療施設数

○ 5 0 0 施設

・ 特定機能病院	3 5 施設
・ 大病院（一般病院 5 0 0 床以上）	7 0 施設
・ 中病院（一般病院 1 0 0 ～ 4 9 9 床）	1 4 5 施設
・ 小病院（一般病院 9 9 床以下）	1 2 5 施設
・ 療養病床を有する病院	1 2 5 施設

3 抽出方法及び層化基準

上記 1 の抽出対象医療施設の中から、上記 2 に掲げる数の医療施設を抽出する。なお、抽出にあたっては、都道府県及び開設者による分類に偏りが生じないよう、病院の種類（5 区分）ごとに、都道府県（47 区分）及び開設者による分類（26 区分）に従って並び替えた上で、系統抽出する。

○ 病院の種類の種類基準（5 区分）

・ 特定機能病院	①
・ 大病院（一般病院 5 0 0 床以上）	②
・ 中病院（一般病院 1 0 0 ～ 4 9 9 床）	③
・ 小病院（一般病院 9 9 床以下）	④
・ 療養病床を有する病院	⑤

※分類基準②～④には、①及び⑤は含まない。

(参考) 開設者による分類 (26 区分)

01 厚生労働省、02 独立行政法人国立病院機構、03 国立大学法人、
04 独立行政法人労働者健康安全機構、05 国立高度専門医療研究センター、
06 独立行政法人地域医療機能推進機構、07 その他^(注)、08 都道府県、09 市町村、
10 地方独立行政法人、11 日赤、12 済生会、13 北海道社会事業協会、14 厚生連、
15 国民健康保険団体連合会、16 健康保険組合及びその連合会、
17 共済組合及びその連合会、18 国民健康保険組合、19 公益法人、20 医療法人、
21 私立学校法人、22 社会福祉法人、23 医療生協、24 会社、
25 その他の法人、26 個人

(注) 国及び国に準ずるものが開設する施設で、「01 厚生労働省」から「06 独立行政法人地域医療機能推進機構」
以外の施設

令和 5 年に実施する受療行動調査
結果表一覧

令和5年受療行動調査

結果表一覧

概数

- 1
- 外来患者の構成割合，病院の種類、満足度の項目、満足度別
- 2
- 入院患者の構成割合，病院の種類、満足度の項目、満足度別

確定数

- 1) 基本集計における二重下線部は、医療施設静態調査とのデータ・リンケージによる項目である。
- 2) 関連集計における下線部は、患者調査とのデータ・リンケージによる項目である。

(基本集計)

- 1
- 患者の構成割合，性、年齢階級、外来－入院、病院の種類別
- 2
- 患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、外来－入院、病院を選んだ理由（複数回答）別
- 3
- 患者の構成割合，病院の種類、病院を選んだ理由（複数回答）、外来－入院、医師による診療・治療内容に対する満足度別
- 4
- 患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、外来－入院、ふだん医療機関にかかる時の情報の入手先（複数回答）別
- 5
- 外来患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、予約の有無、診察等までの待ち時間別
- 6
- 外来患者の構成割合，病院の種類、診察等までの待ち時間、予約の有無、診察までの待ち時間に対する満足度別
- 7
- 外来患者の構成割合，性、年齢階級、診察等までの待ち時間、予約の有無、診察までの待ち時間に対する満足度別
- 8
- 外来患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、診察時間別
- 9
- 外来患者の構成割合，病院の種類、診察等までの待ち時間、診察時間別
- 10
- 外来患者の構成割合，病院の種類、診察時間、診察時間に対する満足度別
- 11
- 外来患者の構成割合，性、年齢階級、診察時間、診察時間に対する満足度別
- 12
- 外来患者の構成割合，病院の種類、診察時間、来院の目的別
- 13
- 外来患者の構成割合，病院の種類、来院の目的、医師による診療・治療内容に対する満足度別
- 14
- 外来患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、来院の目的別
- 15
- 外来患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、最初の受診場所別
- 16
- 外来患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、初めて医師に診てもらった時の自覚症状の有無別
- 17
- 外来患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、自覚症状はなかったが受診した理由（複数回答）別
- 18
- 外来患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、初めて医師に診てもらった時の自覚症状の有無、最初の受診場所、受診までの期間別
- 19
- 外来患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、初めて医師に診てもらった時の自覚症状の有無、受診までに時間がかかった理由（複数回答）別
- 20
- 入院患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、入院までの期間別
- 21
- 入院患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、入院までに時間がかかった理由別
- 22
- 入院患者の構成割合，病院の種類、入院までの期間、入院までに時間がかかった理由別
- 23
- 患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、外来－入院、医師から受けた説明の程度別
- 24
- 患者の構成割合，病院の種類、性、年齢階級、外来－入院、医師に対する疑問や意見別
- 25
- 患者の構成割合，病院の種類、医師から受けた説明の程度、医師に対する疑問や意見、外来－入院、医師との対話に対する満足度別

- 26 外来患者の構成割合、病院の種類、医師に対する疑問や意見、診察時間に対する満足度別
- 27 入院患者の構成割合、病院の種類、性、年齢階級、今後の治療・療養の希望別
- 28 入院患者の構成割合、病院の種類、性、年齢階級、退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し、自宅療養を可能にする条件（複数回答）別
- 29 入院患者の構成割合、病院の種類、今後の治療・療養の希望、性、年齢階級、退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し、自宅療養を可能にする条件（複数回答）別
- 30 入院患者の構成割合、病院の種類、同居の有無、世帯構成、退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し、自宅療養を可能にする条件（複数回答）別
- 31 患者の構成割合、病院の種類、性、年齢階級、外来－入院、医師以外の病院スタッフの対応に対する満足度別
- 32 患者の構成割合、病院の種類、性、年齢階級、外来－入院、生活習慣上の助言や指導の有無、助言や指導の内容（複数回答）別
- 33 入院患者の構成割合、病院の種類、給食（患者用）委託の状況、食事の内容に対する満足度別
- 34 外来患者の構成割合、病院の種類、性、年齢階級、病院で請求された金額の負担感別
- 35 外来患者の構成割合、病院の種類、性、年齢階級、病院で請求された金額別
- 36 外来患者の構成割合、病院で請求された金額、世帯の収入、病院で請求された金額の負担感別
- 37 外来患者の構成割合、入院の有無、性、年齢階級、外来の受診頻度別
- 38 外来患者の構成割合、入院の有無、初めて医師に診てもらった時の自覚症状の有無、受診までの期間、外来の受診頻度別
- 39 外来患者の構成割合、初めて医師に診てもらった時の自覚症状の有無、世帯の収入、受診までに時間がかかった理由（複数回答）別
- 40 患者の構成割合、病院の種類、受動喫煙対策の状況、外来－入院、病院に対する全体的な満足度別
- 41 患者の構成割合、開設者、外来－入院、病院に対する全体的な満足度別
- 42 外来患者の構成割合、病院の種類、満足度全項目別
- 43 入院患者の構成割合、病院の種類、満足度全項目別
- 44 外来患者の構成割合、性、年齢階級、満足度全項目別
- 45 入院患者の構成割合、性、年齢階級、満足度全項目別
- 46 外来患者の構成割合、診察等までの待ち時間、年次別
- 47 外来患者の構成割合、診察時間、年次別
- 48 外来患者の構成割合、診察までの待ち時間に対する満足度、年次別
- 49 外来患者の構成割合、医師による診療・治療内容に対する満足度、年次別
- 50 外来患者の構成割合、診察時間に対する満足度、年次別
- 51 外来患者の構成割合、診察時のプライバシー保護の対応に対する満足度、年次別
- 52 外来患者の構成割合、病院に対する全体的な満足度、年次別
- 53 入院患者の構成割合、医師による診療・治療内容に対する満足度、年次別
- 54 入院患者の構成割合、病室でのプライバシー保護の対応に対する満足度、年次別
- 55 入院患者の構成割合、食事の内容に対する満足度、年次別
- 56 入院患者の構成割合、病院に対する全体的な満足度、年次別

(関連集計)

- 1 外来患者の構成割合、病院の種類、初診－再来、予約の有無、診察等までの待ち時間別
- 2 外来患者の構成割合、病院の種類、初診－再来、診察時間別
- 3 外来患者の構成割合、診察等までの待ち時間、初診－再来、予約の有無、診察までの待ち時間に対する満足度別
- 4 外来患者の構成割合、診察時間、初診－再来、診察時間に対する満足度別
- 5 外来患者の構成割合、病院の種類、初診－再来、医師との対話に対する満足度別
- 6 外来患者の構成割合、病院の種類、初診－再来、医師以外の病院スタッフの対応に対する満足度別
- 7 外来患者の構成割合、病院の種類、初診－再来、紹介の有無、病院で請求された金額別
- 8 外来患者の構成割合、病院の種類、初診－再来、紹介の有無、病院で請求された金額、病院で請求された金額の負担感別
- 9 外来患者の構成割合、病院の種類、紹介の有無、診察時間別
- 10 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、初診－再来、予約の有無、診察等までの待ち時間別
- 11 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、初診－再来、診察時間別
- 12 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、来院の目的別
- 13 患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、外来－入院、病院を選んだ理由（複数回答）別
- 14 患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、外来－入院、ふだん医療機関にかかる時の情報の入手先（複数回答）別
- 15 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、最初の受診場所別
- 16 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、初めて医師に診てもらった時の自覚症状の有無別
- 17 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、自覚症状はなかったが受診した理由（複数回答）別
- 18 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、初めて医師に診てもらった時の自覚症状の有無、最初の受診場所、受診までの期間別
- 19 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、初めて医師に診てもらった時の自覚症状の有無、受診までに時間がかかった理由（複数回答）別
- 20 入院患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、入院までの期間別
- 21 入院患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、入院までに時間がかかった理由別
- 22 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、外来の受診頻度別
- 23 患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、外来－入院、医師から受けた説明の程度別
- 24 患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、外来－入院、医師に対する疑問や意見別
- 25 患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、外来－入院、生活習慣上の助言や指導の有無、助言や指導の内容（複数回答）別
- 26 患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、外来－入院、医師による診療・治療内容に対する満足度別
- 27 患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、外来－入院、病院に対する全体的な満足度別
- 28 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、病院で請求された金額別
- 29 外来患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、病院で請求された金額の負担感別
- 30 外来患者の構成割合、診療費等負担区分、病院で請求された金額、病院で請求された金額の負担感別
- 31 外来患者の構成割合、診療費等支払方法（複数回答）、病院で請求された金額、病院で請求された金額の負担感別
- 32 外来患者の構成割合、診療費等支払方法（複数回答）、世帯の収入、病院で請求された金額の負担感別
- 33 入院患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、副傷病の状況（複数回答）、今後の治療・療養の希望別

- 34 入院患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、副傷病の状況（複数回答）、退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し、自宅療養を可能にする条件（複数回答）別
- 35 入院患者の構成割合、病院の種類、入院（重症度等）の状況、病院に対する全体的な満足度別
- 36 入院患者の構成割合、病院の種類、入院（重症度等）の状況、病床の種類、今後の治療・療養の希望別
- 37 入院患者の構成割合、傷病分類（主傷病）、同居の有無、世帯構成、退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し、自宅療養を可能にする条件（複数回答）別
- 38 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、同居の有無、世帯構成、退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し、自宅療養を可能にする条件（複数回答）別
- 39 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、病院を選んだ理由（複数回答）別
- 40 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、ふだん医療機関にかかる時の情報の入手先（複数回答）別
- 41 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、医師による診療・治療内容に対する満足度別
- 42 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、医師との対話に対する満足度別
- 43 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、医師以外の病院スタッフの対応に対する満足度別
- 44 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、病室でのプライバシー保護の対応に対する満足度別
- 45 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、病室・浴室・トイレなどに対する満足度別
- 46 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、食事の内容に対する満足度別
- 47 入院患者の構成割合、病院の種類、病床の種類、病院に対する全体的な満足度別
- 48 入院患者の構成割合、病院の種類、入院期間、医師による診療・治療内容に対する満足度別
- 49 入院患者の構成割合、病院の種類、入院期間、医師以外の病院スタッフの対応に対する満足度別
- 50 入院患者の構成割合、病院の種類、入院期間、病室・浴室・トイレなどに対する満足度別
- 51 入院患者の構成割合、病院の種類、入院期間、食事の内容に対する満足度別
- 52 入院患者の構成割合、病院の種類、入院期間、病院に対する全体的な満足度別
- 53 入院患者の構成割合、病院の種類、入院期間、今後の治療・療養の希望別
- 54 入院患者の構成割合、病院の種類、入院期間、退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し、自宅療養を可能にする条件（複数回答）別

【受療行動調査の調査票回収率について】

直近３回の調査票回収率については、下表のとおりです。

	区分	調査票配布数 (a)	回収数 (b)	回収率 (%)		回収率 (%) (E=b/a)
				うち郵送 (c)	郵送率 (%) (D=c/b)	
平成 26 年	総 数	195,155	154,456	17,671	11.4	79.1
	外 来	128,020	100,652	11,258	11.2	78.6
	入 院	67,135	53,804	6,413	11.9	80.1
平成 29 年	総 数	186,709	147,194	15,198	10.3	78.8
	外 来	122,817	96,597	9,277	9.6	78.7
	入 院	63,892	50,597	5,921	11.7	79.2
令和 2 年	総 数	159,524	106,929	—	—	67.0
	外 来	103,878	65,533	65,533	100.0	63.1
	入 院	55,646	41,396	—	—	74.4

注：令和２年の入院患者票は回収箱を設置して回収し、病院職員が代わりに郵送する場合もあるが、その内訳については把握していないため、計測不能である。

－以上－

【調査項目一覧】

調査名 令和2年受療行動調査 外来患者票

項番号	調査項目
	記入者
	性別
	生年月日
	予約の有無
問1	診察等までの待ち時間
問2	診察時間
問3	来院の目的
問4	最初の受診場所
問5	初めて医師に診てもらった時の自覚症状の有無
問5 補問	自覚症状はなかったが受診した理由
問6	受診までの期間
問6 補問	受診までに時間がかかった理由
問7	医師から受けた説明の程度
問8	医師に対する疑問や意見
問9	生活習慣上の助言や指導の有無
問9 補問	受けた助言や指導内容
問10	病院を選んだ理由
問11	ふだん病院や診療所を選ぶにあたり入手した情報の情報源
問12	入院の有無
問13	外来の受診頻度
問14	満足度 診察までの待ち時間 診察時間 医師による診療・治療内容 医師との対話 医師以外の病院スタッフの対応 診察時のプライバシー保護の対応 病院に対する全体的な満足度
問15	病院で請求された金額
問16	病院で請求された金額の負担感
問17	世帯の収入

【調査項目一覧】

調査名 令和2年受療行動調査 入院患者票

項番号	調査項目
	記入者
	性別
	生年月日
問1	病院を選んだ理由
問2	ふだん病院や診療所を選ぶにあたり入手した情報の情報源
問3	入院までの期間
問3 補問	入院までに時間がかかった理由
問4	医師から受けた説明の程度
問5	医師に対する疑問や意見
問6	生活習慣上の助言や指導の有無
問6 補問	受けた助言や指導内容
問7	今後の治療・療養の希望
問8	退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し
問8 補問	自宅療養を可能にする条件
問9	満足度 医師による診療・治療内容 医師との対話 医師以外の病院スタッフの対応 病院でのプライバシー保護の対応 病室・浴室・トイレなど 食事の内容 病院に対する全体的な満足度
問10	同居の有無
問10補問	世帯構成